

## アトリエばおのマスク着用の方針

2023.3.13

政府の打ち出したマスク着用についての新方針によると3月13日以降のマスク着用は本人の判断にゆだねるとの事です。それを受けてアトリエばおでの対応を講師陣と協議いたしました。

まず**2022年度内の3月末までについてはこれまでどおりの感染対策**を行います。

つまりこれまで通り**教室内ではマスクの着用**をお願いします。

厚生労働省の令和5年2月10日発表「マスク着用の考え方の見直し等について」の1の(1)において

「マスク着用の考え方の見直しは、円滑な移行を図る観点から、国民への周知期間や各業界団体及び事業者の準備期間等も考慮して3月13日から適用するほか、学校におけるマスク着用の考え方の見直しは4月1日から適用することとし、それまでの間はこれまでの考え方に沿った対応をお願いします。」

という内容を受け、これまでの教室のコロナウイルス対策は、厚生労働省の決定と広島県の公立校の方針に合わせてきましたので、今回もこれに準ずるのが妥当と考えての結果です。

また先に行いました会員の皆様へのアンケートの集計結果に基づいて、以下のように決定し実施いたします。ただし、今後の感染状況によっては方針を変更することもあります。その際には新たな方針を発表いたします。

**1,講師陣は感染拡大予防のため基本的に何らかのマスクを着用**します。

コミュニケーション円滑化のため、顔の表情がわかりやすい透明マスクやフェイスシールドの着用も検討しています。

**2,会員やご家族の皆さんは、マスク着脱は各自でご判断**ください。

教室として着脱の強要はいたしません。

**3,ただし、体調不良の場合や咳き込む等の場合は着用を推奨**いたします。

なお咳き込みが激しく他の会員さんが不安を抱くような場合には、マスク着用や欠席、早退をお願いすることがあります。

**4,参加者の体調や基礎疾患などによって個別のクラスで着用**をお願いする場合があります。

**5,文化センターなどでは施設のガイドライン**に従います。

**6,手指消毒及び検温、換気などの感染予防対策**は当面引き続き行って参ります。

上記の措置は4月1日より実施いたします。

**着脱について互いへの干渉はご遠慮**ください。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

アトリエばお造形教育研究所 代表 加藤宇章